

令和8年6月15日

国土交通省関東地方整備局

港湾空港部

## 横浜港におけるCONPAS®「原則予約」への転換

～BC2ゲートで常時運用を開始、他ターミナルへも試験運用を展開～

横浜港本牧ふ頭BC（BC2ゲート）コンテナターミナルにおいて、CONPAS®原則予約による常時運用を7月13日（月）に開始します。

また、本牧ふ頭BC（BC1ゲート）・D1・D4コンテナターミナル及び南本牧ふ頭コンテナターミナルにおいて、CONPAS®原則予約による試験運用を8月12日（水）・13日（木）に実施します。

関東地方整備局では、京浜港の国際競争力の強化のため、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を目的としたシステムである「CONPAS®」の導入を進めています。

今般、下の概要により、本牧ふ頭BCコンテナターミナル（BC2ゲート）で常時運用を開始するとともに、本牧ふ頭及び南本牧ふ頭の他の全てのコンテナターミナルで試験運用を実施します。

### 〈常時運用の概要〉

開始日： 令和8年7月13日（月）

常時運用の開始： 本牧ふ頭BCコンテナターミナル（BC2ゲート）

※利用手引きは、6月中旬、CyberPort・CONPASポータルサイトに掲載します。

### 〈試験運用の概要〉

実施日： 令和8年8月12日（水）・13日（木） 2日間

試験運用の実施： 本牧ふ頭BCコンテナターミナル（BC1ゲート）

本牧ふ頭D1コンテナターミナル

本牧ふ頭D4コンテナターミナル

南本牧ふ頭コンテナターミナル

※利用手引きは、追って、CyberPort・CONPASポータルサイトに掲載します。

### 〈発表記者クラブ〉

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

### 〈問い合わせ先〉

関東地方整備局 港湾空港部

電話：045-211-7437 メールアドレス：info-i83ab@mlit.go.jp

クルーズ振興・港湾物流企画室 室長 久保（くぼ） 内線：5729

専門官 岩本（いわもと） 内線：5748



# 本牧BC2における常時運用(概要)

## ①CONPAS<sup>®</sup>運用の目的

- ・特定時間帯へのトレーラー集中来場を平準化することによるゲート前待機時間の削減。
- ・PSカード活用によるゲート受付時間の短縮。
- ・予約情報を活用したCY内荷役効率化によるCY内滞在時間の短縮。

## ②実施概要

実施時期	令和8年7月13日～
対象コンテナ	全種別 : 搬出(実入・空)、搬入(実入・空) ※BC2ゲートにて搬出入受付を行う全てのコンテナ
対象店社	神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会加盟店社を含む BC2ゲートで搬出入する全ての利用店社【原則予約】 ※BC2ゲートでの搬出入にあたってはCONPAS <sup>®</sup> 予約が必要
予約車動線	C突堤中央道路～BC2ゲート ※例外車両(PSカード未登録など)は、例外車両予約登録場(A突堤待機場【暫定】)を經由
予約時間	全種別 : 8:30-11:30、13:00-16:30
予約枠数	・搬入(実入・空):5-8台/3分 ・搬出(実入・空):4-9台/3分
入場可能時間	予約時間枠の前後30分以内に予約状況確認場所へ来場
予約期限	搬出入日の3営業日前の14:00から入場可能時間終了まで
ペナルティ制度	適用 ※横浜港の他の常時運用/試験運用ターミナルと共通で加算 ただし、原則予約のため、『利用停止』ではなく、『利用制限(当日のみ予約)』を適用

## ①CONPAS<sup>®</sup>運用の目的

- ・特定時間帯へのトレーラー集中来場を平準化することによるゲート前待機時間の削減。
- ・予約情報を活用したCY内荷役効率化によるCY内滞在時間の短縮。

## ②実施概要

実施時期	調整中 (令和8年8月12日(水)・13日(木)の2日間を想定)
対象ターミナル	本牧BC(BC1ゲート)、本牧D1、本牧D4、南本牧(MC1/2・MC3/4)
対象コンテナ	全種別 : 搬出(実入・空)、搬入(実入・空)
対象店社	神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会加盟店社を含む 各ターミナルを利用する全ての店社 <b>【原則予約】</b> ※上記ターミナルを利用するすべてのコンテナで原則CONPAS <sup>®</sup> 予約が必要。
予約車動線	調整中
予約時間	調整中
予約枠数	調整中
入場可能時間	予約時間枠の前後30分以内に予約状況確認場所へ来場 <b>※南本牧へも6月29日より適用します</b>
予約期限	搬出入日の3営業日前の14:00から入場可能時間終了まで
ペナルティ制度	適用 ※横浜港の他の常時運用/試験運用ターミナルと共通で加算 ただし、原則予約のため、『利用停止』ではなく、『利用制限(当日のみ予約)』を適用

## ③各ターミナルのCONPAS®運用

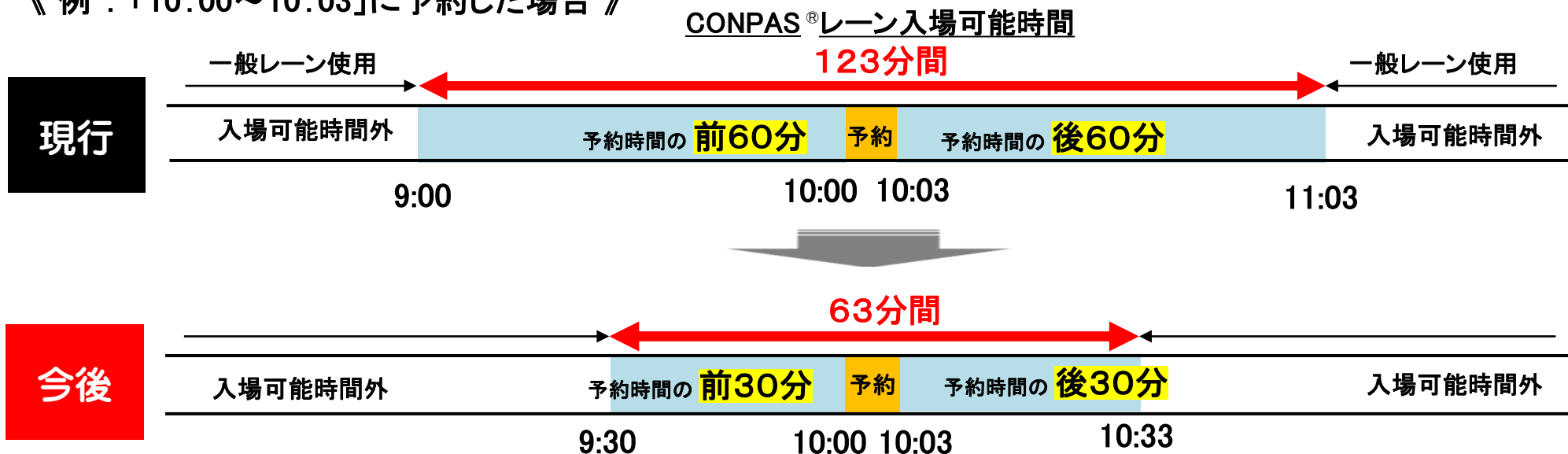
		7/10 (金)	7/13 (月)	7/14 (火)			8/12 (水)	8/13 (木)	8/14 (金)		
南本牧		CONPAS常時運用 (部分予約)						CONPAS試験運用 (原則予約)		CONPAS常時運用 (部分予約)	
本牧 BC2	CONPASなし	CONPAS常時運用 (原則予約)									
本牧 BC1		CONPASなし						CONPAS試験運用 (原則予約)		CONPASなし	
本牧 D1		CONPASなし						CONPAS試験運用 (原則予約)		CONPASなし	
本牧 D4		CONPASなし						CONPAS試験運用 (原則予約)		CONPASなし	

- CONPAS<sup>®</sup>の入場可能時間が、現状、南本牧と本牧とで、異なっている状況。  
南本牧（予約枠の前後「1時間」以内）  
本 牧（予約枠の前後「30分」以内）
- 南本牧は、入場可能時間が（本牧より）広い運用ルールのため、平準化の効果が限定的。  
結果として、CONPAS<sup>®</sup>予約車の来場時間が集中し、待機列が延びている時間帯が発生。



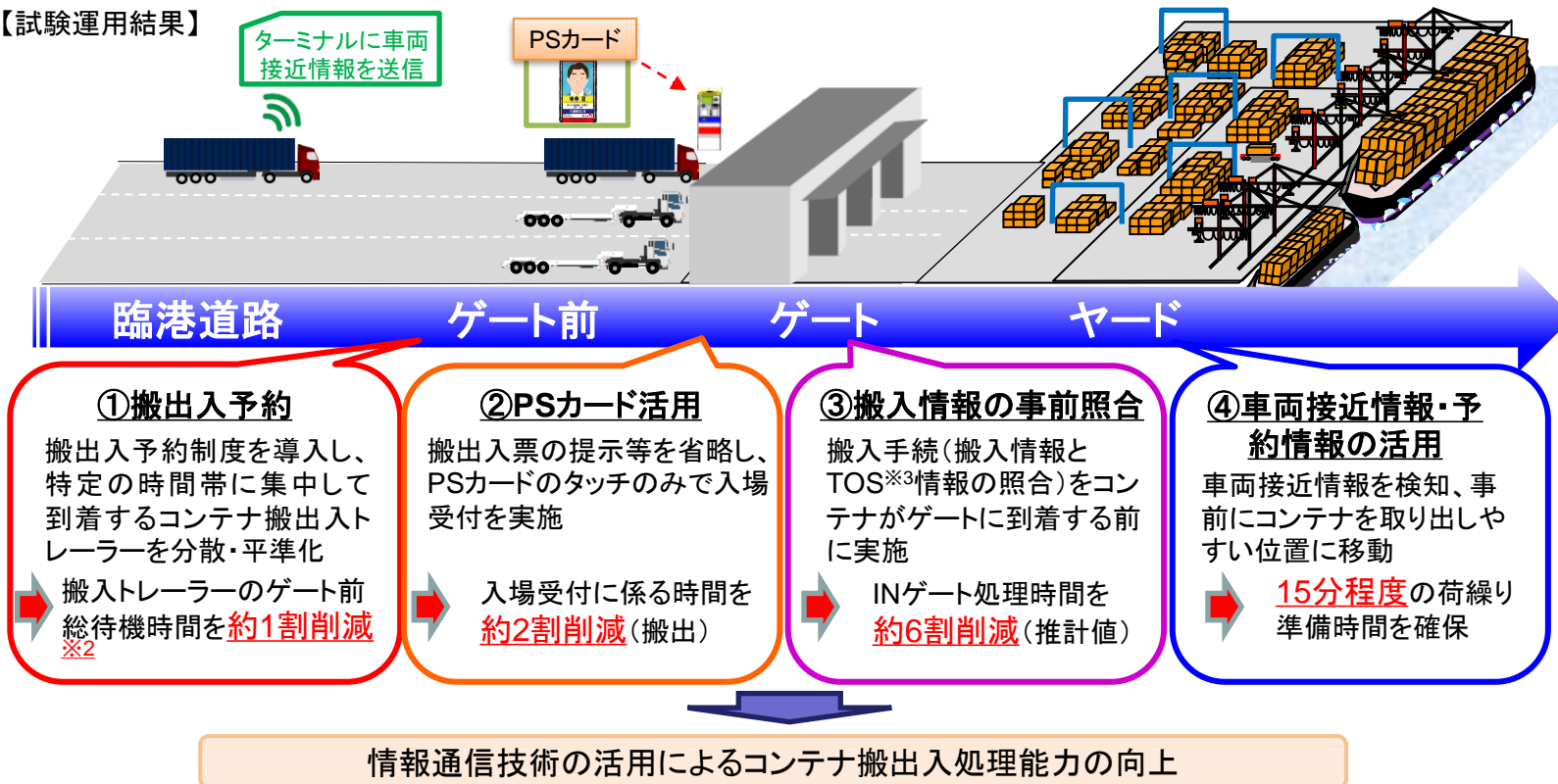
- 令和8年6月29日から、横浜港全体で運用ルールの統一を図り、予約枠の前後「30分」以内に到着した車両が入場可能となるルールに変更する。

《 例：「10:00～10:03」に予約した場合 》



- 「CONPAS®※1」は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることで、コンテナ物流の効率化及び生産性向上の実現を目的としたシステム。
- ゲート前混雑が深刻化する中、情報通信技術の活用により、ゲート手続やヤード内荷役作業の効率化を実現するため、横浜港・東京港において、試験運用を実施している。
- 横浜港では、2021年3月より、南本牧ふ頭にて「常時運用」を開始。
- 東京港では、大井1・2号(2025.8～)、大井3・4号(2026.1～)、大井6・7号(2026.3～)にて「常時運用」を開始。

【試験運用結果】



※1 CONPAS®: Container Fast Pass の略

※2 搬入トレーラーの14%が CONPAS®で予約を行った場合

※3 TOS: Terminal Operation System の略